

## <晩秋の向日葵>

校長 佐藤 幹彦



市民公園のイチヨウ並木が黄色く鮮やかに色づいています。通勤時には、太陽の光に照らされたイチヨウが黄金色に輝いていて、毎朝とても感動しています。学校から見える山々も赤や黄色に彩られて、「晩秋」を感じる季節となりました。



そんな中で、本校の職員玄関横の花壇には、季節外れの！？向日葵が何輪も咲き誇っています（11月9日現在）。最近では、朝方の気温が10℃を下回るようになって大変肌寒いのですが、向日葵が寒さに負けずに咲いているところを見ると、晴れやかな気持ちになって元気をもらっています。向日葵と言えば、「夏の花」というイメージですが、今咲いている向日葵は、本校の用務員さんが、11月～12月頃でも咲くということを知って、9月に種まきしたものが、少しずつ成長して、見事に開花したものです。



10月20日の第2回進路説明会で、あらためて具体的な事務手続きやスケジュール等について話を聞いた3年生徒の多くは、現在、具体的な目標をしっかりとって、自分をさらに高めようと一段と努力し始めています。しかし、中にはなかなか目標が定まらない生徒、思うように頑張れない生徒も当然います。人生で初めての分岐点・進路実現を経験する生徒たちですから、「揺れ」や「戸惑い・迷い」があっても当然です。大切なのは、あきらめないこと。まずは、自分の夢や目標をしっかりとって、粘り強く努力し続けること。そうすれば、たとえスタートが遅れたとしても、いつかは「晩秋の向日葵」のように、全員が「大輪の花」を咲かせることができるということを知っています。

